



ネイチャーぼうけん&防災キャンプ(関東エリア)2022年度実施報告

◆実施概要

| | |
|---------|--------------------------------------|
| キャンプテーマ | うみとハロウィン |
| 日程 | 2022年10月29日(土)~30日(日) |
| 会場 | 鴨川青少年自然の家 〒299-2862 千葉県鴨川市太海122-1 |
| 参加者合計 | 43名 |
| (内訳)こども | 30名(内被災経験世帯 1名) |
| スタッフ | 2名 |
| ボランティア | 9名(フィリピン・メキシコ・スリランカ・ブラジル・チリ・ミャンマー) |
| バス運転手 | 2名 |

◆プログラム詳細

シーカヤック



天気が良く、波も穏やか。10月下旬とは思えない暖かさで、海辺にいても寒さはあまり感じない日でした。はじめにパドルの使い方を習い、2人1組でカヤックに乗り海の上へ。コースに出て、フラッグのところまで進んだら大きくUターンして戻ってきます。「向かい風のおきに進むと船が揺れるー！」などと、風向きや波の変化を敏感に感じ取り、分析する姿もみられました。低学年のこどもたちとはボランティアスタッフがペアを組んで、しっかりサポート。全員が無事にゴールできました。

ぐるぐるミイラ



ケガをしたときの止血の流れや、正しい包帯の巻き方を学びます。ペアになり、血のりを使って実際のけがを再現。最初は包帯の結びがゆるかったり、途中でねじれてしまったりの連続でした。しかし、手こずっていたこどもたちも徐々に上達し、終盤には「私が包帯やってあげる！」と自信満々で言ってくれるこどももいました。

おぼけ脱出バトル ～うみのヴィランズ～



海で想定される色々な災害・トラブルをもとに、クイズ形式でゲームを行いました。「正しい心臓マッサージの方法は？」「クラゲに刺さってしまったら？」「傷口はどうやって消毒する？」など実践的な問題ばかり。ボランティアスタッフが、あえて不正解の回答を提案すると、なぜ間違っているのか、理由を付けて説明してくれるこどももいました。1泊2日のキャンプを通じて、海の危険に関する知識が深まったようです。

国際交流



ボランティアスタッフが、それぞれの出身国の文化について紹介しました。事前に模造紙にイラストなどを描いてわかりやすく解説するボランティアスタッフもいれば、自国の小さなお菓子を配ってくれたスタッフも。初めて見るパッケージや、文字、味は、特にこどもたちを惹きつけたようです。包み紙を宝物のように大切に持ち帰るこどももいました。

